

子育てサロン 新田

ひまわりだより



2015年9月1日

新田保育園

園長 川端隆

『災害対策、大丈夫？』

9月は関東大震災が発生した月です。災害対策について立ち止まって考えることは、幼い子どもを守るために必要なことです。保育園では月に1度、地震火災どちらかの避難訓練を、時間帯を変えて行っています。(様々な時間帯に行い、状況を変え訓練しています。)国は災害で交通機関が麻痺した場合、無理に帰宅せず、会社等で待機する事を方針として出しました。ですからお仕事に行ったお父さんが、帰宅できないことも考えておかねばなりません。お父さんが革靴で通勤されていたら、勤務先にスニーカーを置いておいたほうが良いです。がれきを歩く時、革靴では歩きづらいそうです。保育園では、園児3日分の水や食料の備蓄を行っています。ご家庭での備蓄は大丈夫ですか？救急箱にも応急処置ができるような医療用品が入っていますか？

その時忘れがちなのが、保護者の方自身の備蓄です。子どものことは考えるのだけれど、ご自身のことを忘れてはいませんか？災害対策の研修に行った際、「自分のことはできていますか？保育園の職員が命を落とすと、子どもを守る人がいなくなります。自分自身も生き残らないと、子どもは守れません。」と話され、ハッとしたことがありました。保護者の皆さんも同じです。水、食料、常備薬は置いてありますか？スニーカーはありますか？携帯の充電器、女性は生理用品も必要です。(生理用品は止血にも役に立つそうです)そして生きて子どもを守らなければなりません。

いつ発生するかわからない災害です。備えていきましょう。

『防犯対策は？』

8月には中学生の痛ましい事件がありました。子どもの命を脅かすものは、災害だけではありません。乳児の頃は、大人が目を離さないことが大切です。幼児になると、行動範囲が広がります。小中学生になると、なおさらです。幼児になったら「保護者の名前」「住所」「電話番号」が言えるように順次教えましょう。また「暗くなったら家に帰る」「知らない人にはついて行かない」「約束は守る」など、身を守るために必要なことは話して聞かせましょう。また、卒園保護者の方から「思春期の大変な時代、保育園の保護者のネットワークに助けられた。」と伺ったことがあります。子どもを注意してくれる人は、多くいたほうが良いです。皆で子ども達を守っていくために、繋がっていくことが大切です。

『9月の歌 バスごっこ』

1. おおがたバスにのってます

きっぷをじゅんにわたしてね
おとなりへ ハイ おとなりへ ハイ
おとなりへ ハイ おとなりへ ハイ
終わりのひとは ポケットに

2. おおがたバスにのってます

だんだんみちがわるいので
コツンコ ドン コツンコ ドン
コツンコ ドン コツンコ ドン
おしくらまんじゆ ギュッギュッギュッ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
9月					阿部良雄作陶展				庭遊び								身体測定	絵本読み聞かせ								誕生会				庭遊び